

経営デザインシート(全社用)

(株)バンガードシステムズ

自社の目的・特徴

- ・製品開発事業とサービス事業の両輪で事業を展開
- ・独自のモーター制御をコア技術とした製品事業
- ・1DAYデリバリーを特徴とし、自社製品を活用したサービス事業

経営方針

- ・継続的なチャレンジにより、世の中をより良くする為に、製品開発力、サービス開発力にさらに磨きをかけていく
- ・モノとコトの両輪を拡大し、事業領域を拡大する

資源

ビジネスモデル

価値

資源

ビジネスモデル

価値

内部資源

- ・元社長が築いた豊富な人脈
- ・特定の技術（モーター制御、電流制御、アクチュエータ機構設計）やマイコンプログラミング技術（OS Less, Real Time）に精通した人材
- ・独創的な技術を生み出す組織風土
- ・サービス従事者は全員が多能工
- ・グループブリース（場所、人）

知財

- ・ステッピングモーターの電動ドライバーへの適用ノウハウ
- ・特許権（トルクコントロール：登録第1645758、異種電機ドライバー：登録第1628944、ドライバー：登録第1500637）
- ・専用LSI（制御部分）の構築化技術

外部調達資源（誰から）

- ・神田工業グループ会社（営業、人材、場所、EMS）・YDK、立山科学、沖電気（EMS）・三菱（モーター）

知財

- ・品質管理、製造技術、広告、宣伝技術、生産技術

事業ポートフォリオ

各事業の役割・相互関係等

TS事業部
自社製品による生産サービス、ME事業部で技術支援

ME事業部
モーター制御の応用製品開発、TS事業部で生産支援

自社の強み

- ・独自技術（モーター制御）
- ・精密機械設計技術
- ・高密度基板設計技術
- ・多能工
- ・1day完結の工程管理

知財の果たしてきた役割

- ・自社技術の保護
- ・市場獲得

提供してきた価値

- ・静音、低振動、高応答のモータードライバー、コントロール・トレサビリティ、設備を小型化する電動ドライバー
- ・海外代理店が顧客のニーズで抽出した製品のカスタマイズで顧客対応
- ・他品種小ロット短期での生産
- ・1dayでの突発的なサービスオーダーへの対応（駆け込み寺）

提供先から得てきたもの

- ・売上
- ・事業/製品のニーズや課題
- ・品質の信頼性による評価
- ・口コミによる顧客紹介

内部資源

【人材】

- ・創業者の豊富な人脈を継承
- ・技術（電流制御、マイコンプログラミング、メカトロニクス、ソフト開発、通信、生産）のエンジニア
- ・国内/国際規格の策定や委員に参画できる人材
- ・海外市場に精通し、海外人脈のある技術営業員
- ・品質とコストで生産を牽引する生産部門【資金】事業拡大に可能にする資金【組織】独創的な技術を生み出す組織風土、市場創造性が高い製品やサービスの具現化を推進する組織体制、個々の成長が会社の成長に直接する組織運営

知財

- ・特許権の取得
- ・特許権の活用
- ・特許権の活用（特許権）
- ・特許権の活用（特許権）
- ・特許権の活用（特許権）

外部調達資源（誰から）

- ・企業（組込み系、システム系）
- ・企業（組込み系、システム系）
- ・企業（組込み系、システム系）

知財

- ・品質に関する運用情報
- ・製造技術
- ・製造技術
- ・品質に関する運用情報

事業ポートフォリオ

各事業の役割・相互関係等

TS事業部
自社製品による生産サービス、当社品質を維持する販売

ME事業部
独自技術の進化と深化、モーター制御の応用製品開発、高精度自動化設備、レーザリング機導入による提供

共通（互助）
互いの事業部による生産支援、技術支援

自社の強み

従来の強みを継承しつつ、以下の強みを獲得

- ・自社製品による一貫した生産サービス
- ・市場ノウハウを活かしたロボット利活用技術
- ・見える化
- ・新製品・ニーズの創出を牽引

知財の果たす役割

- ・差別化による競争力
- ・模倣阻止
- ・ロイヤリティ収入
- ・顧客の課題抽出スキル
- ・新たな顧客開拓
- ・市場創造

提供先から得るもの

- ・売り上げ
- ・口コミによるネームバリュー
- ・信用と信頼
- ・ねじ締め、ねじ締め、ねじ締め
- ・当社への依存性

これまでの外部環境

- ＋要素**
- ・部品不足の折、リサイクル生産が増加
 - ・テレワークが普及
 - ・生産ラインの自動化促進が加速

- －要素**
- ・大量生産品の海外移行
 - ・中国から安価な人件費の国々へ分散する生産拠点
 - ・コスト競争
 - ・供給不足が続く部品流通

全社課題（弱み）

- ・競合他社製品の評価体制が未構築
- ・さらなる品質向上のための多様な品質管理体制の構築
- ・国際規格に知する知識と経験の不足
- ・事業を拡大する為の資金力が不足
- ・技術に精通した社長の高齢化と個人に依存
- ・技術者不足により技術継承が進んでいない

「これから」の姿への移行のための戦略

これからの外部環境

- ＋要素**
- ・中国生産ラインの自動化促進が加速
 - ・国内地方生産拠点の活性化
 - ・車体販売からセット販売化するロボットビジネス
 - ・World WideなDX化が進む
 - ・5Gの普及

- －要素**
- ・安価な人件費では手動生産継続する
 - ・さらなるコスト競争
 - ・微小なねじのコモディティ化
 - ・緊急性の高い受注の増加
 - ・海外運搬が難しい状況が続く

移行のための課題

- ・拡がる生産拠点をサポートする販売拠点
- ・活性化させる国内生産に追従するサービスセンター
- ・不足しているモーター制御系エンジニア
- ・DX化するシステムへの対応/システム構築
- ・セッティングするロボットへの対応
- ・台頭する競合への対策（技術、コスト）
- ・組織的な対応による品質保証

必要な資源

- ・東南アジア、インド、中南米の販売拠点
 - ・海外現地語の技術営業
 - ・ロボット制御技術
 - ・ITシステムエンジニア
 - ・5G通信技術
 - ・国内サービスセンター（地方カバード）
 - ・モーター制御エンジニア
 - ・EC
 - ・安価な生産拠点
 - ・生産・品質の専任部門
- 知財**
- ・特許権の活用（特許権）
 - ・特許権の活用（特許権）
 - ・特許権の活用（特許権）

解決策

- ・東南アジア、インド、中南米に既に販路を持っている企業とパートナーシップ
- ・大学との連携
- ・どのパートナーシップ
- ・日本語が堪能な現地人へのコンタクト及び契約
- ・協業
- ・オープンイノベーション、技術提携
- ・生産技術エンジニア及び生産管理（調達等）部門の雇用（品質とコストの強化）
- ・ECサイトへの出店
- ・無線（Bluetoothや公衆網など）
- ・システムの開発（IoT、DX）
- ・（グループシナジー）

これまで

これから